

広報 ひろば たいせつ



2012
6月号
Vol.112

お米ジェラード『愛すご飯』が一村逸品大賞で金賞受賞
選考委員長のやくみつる氏(右)より記念品を受けとる柿林組合長(左)

6月号目次

- 『愛すご飯』一村逸品大賞で金賞受賞②
- 第9回通常総代会開催③
- 総代会開会あいさつ④⑤
- たいせつHOTニュース⑥⑦
 - TPP交渉参加阻止道民集会
 - 直売所野菜出荷本格化!
 - 第41回上川ホルスタインショー開催
 - 酪農後継者研修会開催
- たいせつなここがポイント(水稲・畑作編)⑧⑨
- ひろげよう農家民泊⑩
- JAMマイカーローンのご案内⑪
- 中古農機・自動車展示即売会⑫
- 理事会からのご報告、監事会からのご報告⑬
- 機構図⑭



豊穣の秋を期待し、5月中旬より田植え作業始まる
東鷹栖地区 沼沢さん

 **たいせつ**

ホームページURL <http://www.jataisetu.or.jp/>

お米ジェラート『愛すご飯』 日本農業新聞全国大会で『一村逸品大賞』で金賞受賞

この大会は、日本農業新聞の普及推進J Aを表彰し、啓蒙普及を図ることを目的に行われており、

今回は、創刊85周年・株式会社設立10周年を記念した大会となり、その大会に「長期普及優績表彰」と「一村逸品大賞」金賞のW受賞をできましたことは、全国多くの受賞を受けたJ Aの中でも唯一、J Aたいせつのみであり、大きな栄誉を受けました。

お米ジェラート「愛すご飯」は

選考委員長のタレントやくみつる氏より受賞を受け、会場の一村逸品受賞展示ブースにて、やくみつる氏との記念撮影を行いました。

また、大会当日の日本農業新聞全国版にも記事として大きく掲載していただき、今後のお米ジェラート「愛すご飯」の販売に追い風となり、使用している高級ブランド米「ゆめぴりか」の全国知名度向上のよいPR相乗効果となりました。

日本テレビ(STV)『女神のマルシェ』に登場予定

STVにて毎週水曜日午前10時25分から11時00分の時間帯で放映しています。「女神のマルシェ」(柴田りえ・東MAX出演)の番組においてお米ジェラート「愛すご飯」が、番組企画の「アイスパトル選手権」にノミネートされ、紹介される予定です。



☆放送日

6月20日水曜日

午前10:25~11:00放送

お楽しみに!



第9回通常総代会開催

たいせつ農協第9回通常総代会を4月25日午後1時より、たかすメロディーホールに於いて総代・来賓各位多数のご出席を戴き開かれました。

はじめに、大西筆頭理事の音頭により出席者全員でJA綱領の唱和をしました。柿林代表理事組合長より開会の挨拶がなされ、続いてご来賓を代表して鷹栖町長助安嘉和様、旭川市農政部長中尾信一様、系統連合会を代表してJA北海道信連旭川支所長林則明様よりご祝辞を頂きました。

その後議長団の選出では、鷹栖地区より14区藤澤孝夫さん、東鷹栖地区より18区松島一則さんが選出されました。議長団の就任挨拶の後、総代会への出席人数の報告がなされ、総代定数335名中、実出席総代数182名、代理議決数27名、書面議決数54名で本総代会が成立する事を告げ議事に入り、平成23年度第9事業年度事業報告、決算報告、剰余金処分案、



議長団を務める鷹栖地区藤澤孝夫さん(左)、東鷹栖地区松島一則さん(右)

平成24年度事業計画案と10議案並びに報告事項3件について上程され、満場の賛成で全議案について原案通り可決承認されました。総代会では、ご意見やご要望が出され、その中でも「JA北海道信連の奨励金の考え方」や「将来の農協の体制・合理化について」な

ど、今後の事業運営に向けた質疑がなされ柿林代表理事組合長より答弁されました。

その後、「TPP交渉参加断固阻止に関する特別決議(案)」が小野寺昭人青年部長により読み上げられ、満場の賛成で採択され、最後に松原代表理事専務の閉会挨拶があり、午後2時55分閉会しました。

総代の皆様には、農繁期大変お忙しいところご出席賜り有難うございました。今後の農協運営につきましては、農協事業懇談会や総代会で出されましたご意見を基に役員一丸となって努力して参りますので、組合員皆様の尚一層の深いご理解とご利用をお願い申し上げます。



TPP交渉参加断固阻止に関する特別決議(案)を提案小野寺昭人青年部長

第9回通常総代会 開会あいさつ



代表理事組合長
柿林 孝志

組合員総代の皆様には、本年は特に融雪が遅れ、水稲の播種作業では、未だ最盛期の大変お忙しい中、本総代会に御出席を頂き、厚く御礼と感謝申し上げます。又、御来賓の皆様には、日頃より御指導・御協力を賜っており、本日の御多忙の中、御臨席を頂き重ねて御礼と感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、経済的にはデフレ脱却の為、実質ゼロ金利政策を復活させ、「包括的な金融緩和策」を実施し、景気回復の軌道に戻りつつあった矢先の3月11日、東日本大震災が日本経済を痛撃し、地震と津波に加え、それが直接的な起因となつて発生した原発事故で戦後最悪の災害を引き起こしました。この大震災により膨大な尊い人命が失われ、更には原発事故で発生した放射性物質汚染は環境のみならず地域の農業生

産に大きな影響を与え、我が国全体の経済に長期に亘り、広範囲で深刻な影響を与えることは疑う余地がないと推測されております。被災された東北地方の方々に對し心からお見舞いを申し上げますと共に被災地の一日も早い復興を心から祈念致します。

不順な天候続き畑作物に被害 水稲は順調に生育し豊作

昨年の農業を取り巻く情勢は、気象並びに各作物の作況について融雪は比較的早かつたにも拘らず降雨と低温・日照不足の影響により、畑作物においては圃場の準備が間に合わず播種作業・移植作業が大幅に遅れ、各畑作物の初期生育に大きな影響を与え、さらには、7月中旬から8月中旬の高温・雨不足、9月の台風による大雨と連続した不順な天候も重なり、ビート・馬鈴薯を中心に生育に大きな影響を与え、結果として品質・収量共に大変な被害を蒙りました。一方、水稲については育苗がハウスの中ということもあり、あまり気象の影響を受ける事がなく、田植えもほぼ平年並みに始まり植え痛みもほとんどなく、その後の生育も順調な経過をたどつた結果、茎数では例年に比べやや少なかつたものの、稔実歩合が非常に高く、それにより単位面積当たり総粒数が確保され最終的な作況指数、北海道105、上川管内1

07で例年になく腐米・未熟米の発生が少なく良品質米が確保でき、平成20年に次ぐ豊作となりました。

組合員皆様の努力による 事業成果

たいせつ農協平成23年度は第3次農業振興計画「協調と躍進」の最終年にあたり、「地域農業基盤の育成」など4つの具体的基本方針の実践に向け、組合員の皆様との連携を密にし、積極的に取り組んで参りましたが、農業・農村を取り巻く情勢は、急加速する高齢化・流通のグローバル化・六次産業の振興など、めまぐるしく変化し、充分な対応策を見出せないまま現在に至っております。

平成23年度の事業実績は、販売事業では農畜産物販売高48億9千5百万円、内「米」は42億2千8百万円で前年より11億4千9百万円上回り、総集荷数量で32万6544俵は前年集荷数量より2万5千8百俵余り多く、支払概算金単価と集荷数量が相乗的に働いた結果が大幅な販売高の増加の原因として考えられます。米の全国的な需給状況では全国の作況指数101である事、そして福島をはじめ近隣各県の原発の影響での不確定な出荷数量もあるとは言え、本年10月末で約4万トンの持越在庫を予想しており、消費量も減少傾向にあることから、現状の価格水準

維持には不安視する声が強くなつてきております。そのような米の需給環境にあつて、「米農協」たいせつ農協としても主要産地指定先との播種前契約等に積極的に取り組み、「安全で安心」な米の安定した供給元として、「販売の有利性」を創出する為にライスセンタール・ライスターミナルの利用の粉出荷を推進した結果、組合員皆様の御理解により50%を超える初出荷率を確保することが出来ました。

野菜については高齢化による作付面積の減少から年々販売額が減少してきておりましたが、品目によつて収量差があつたものの主要品目である胡瓜などの価格が良かった為、前年実績を若干上回る3億4千3百万円の販売実績になり、畜産では3億2千3百万円と前年を若干下回る実績となりました。

金融事業は、国内経済全体が緩やかな景気回復基調にあるものの、急激な円高や高い失業率が依然継続し、地域経済は一層深刻な状況が続いているが、農産物販売金額の増加による農家所得が向上したことにより、貯金は計画対比6億8千9百万円増の期末残高26億6千2百万円、貸付金は計画対比4億7千4百万円減の37億9千3百万円で受託資金を含む貸付金総額でも3億6千5百万円減の52億6千万円となりました。

共済事業は、お客様との「絆」を大切にしたい「サンキュー訪問活動」の実践により長期共済新規加

入件数1、1111件で保障額37億5千5百万円、計画対比5千5百万円増の推進実績となりましたが、長期共済保有高では年々減少し65.9億2千万円となりました。

購買事業の生産資材は、従来の取り纏めと「出向く農協」を目的に設置した営農推進との協賛にて庭先訪問販売等を実施した結果、計画対比6千4百万円増の11億6千7百万円の取扱高となりました。メカニックセンター部門では原油国際市況の高位変動が継続し、石油類が年間を通じて高値基調であったことと農機具に対する国の導入助成事業（経営体育成支援事業）の該当により取扱高では計画対比3億6百万円増の20億5千万円の取扱高となりました。

国内景気が停滞気味に推移し農協事業が総体的に伸び悩む中、組合員皆様の積極的な利用に対する御協力と「米」をはじめとする農産物全量出荷の御協力のもと、事業管理費等の圧縮と各事業部門の費用削減に努めた結果、当期剰余金として9千2百151千円を計上することが出来ました。改めて、組合員皆様の日頃からの農協に対する御協力に対して心から厚くお礼申し上げます。

地域農業を消費者へ発信

平成21年9月、国の「ふるさと

雇用特別対策推進事業」で旭川市の委託事業所として、たいせつ農協が引き受けた農産物直売所「たいせつ」も今年度3月末で事業が終了することから、今後の運営について検討した結果、今年度は体制構築年とし来年度以降の完全自主運営に向けて引き続き「JAたいせつ農産物販売協議会」の主体的運営のもと、地域の安全・安心な農畜産物を直接消費者に届けるアンテナショップとして活動を継続することとしました。尚、農協も直売所を「米」の直売・特産品の販売拠点として一層強化しサポート支援して参ります。又、「田んぼアート」事業も今年度7年目を迎えます。今年度も地域関係団体の協力のもと「JAたいせつ田んぼアート実行委員会」を中心に、生産者と消費者の直接の触れ合いの場としての「田んぼアートフェスティバル」の開催にも積極的に取り組みたいと思えます。併せて、「JAたいせつ地域グリーンハート協議会」では都市と農村との交流や食育・農業体験を目的としたグリーンツーリズム事業を展開し、農作業体験を通して農村・農業への理解を深めるとともにJAたいせつ地域が安全・安心な農産物の生産に積極的に取り組んでいることを広くアピールしてくれるものと期待しています。

昨年、農業者戸別所得補償制度が畑作物の所得補償を含めて本格的に実施されました。更に今年度については、地域が抱える「人と

農地の問題解決」の為、市町村が作成する「人・農地プラン」地域農業マスタープランでは今後の地域の中心となる経営体への農地集積や新たな経営体の育成に向けて具体的な方策が示されることとなっており、農協もJAたいせつ水田農業推進協議会を中心に旭川市・鷹栖町の両行政との連携を図り、地域農業マスタープランの検討、生産数量目標の配分、地域の実情に応じた畑作物の生産性向上、地域振興作物の取り組み支援のための産地資金の活用方法等について積極的に取り組んで参ります。

『創意と発揮』実践に向けて

本年から平成28年度を目標に第4次地域農業振興計画・JA中期経営計画「創意と発揮」を策定しました。その中では「JAたいせつ」の基本理念として「恵まれた生産基盤を最大限に生かした、魅力ある地域農業振興の実践」、「JAの業務推進活動を通じて、組織機能の強化・組合員の所得向上」、「組合員・地域の皆様に信頼される合理的経営管理・自己責任経営体制確立」の三つを定め、併せて、具体的に盤石な米主産地に向けての施設導入の検討、旧鷹栖支所周辺整備の検討など、実践を通して着実に成果を上げるため役員一体となって取り組みますので、組

合員各位の一層の御協力をお願い申し上げます。

平成24年度水稲作付面積は主食米生産面積で3、628ha、加工用米39haの合計水張面積3、667haを計画し、安全安心な良質米の生産に心掛け「信頼される米産地の実現」と更なる「産地指定の拡充」を図り有利販売に努めて参ります。

本年の農畜産物の取扱計画は41億3千万円とし経済情勢が相当厳しい中ではあります、経費削減等に努め当期剰余金2千221千円を目標に取り組みで参りますので、農業・農協を取り巻く情勢も厳しさを増していくことが予想されますが、役員一体となつてその対応に当たつて参りたいと考えておりますので、組合員皆様の農協全利用と限りない御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本日の総代会提出議案10件、報告事項3件につきましては先般の農協事業懇談会で御説明させて頂いたところでございますが、十分なる審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。又、本日の総代会に、今、東京で全国集会在開催されており、TTPP交渉参加断固阻止に関する特別決議(案)を提案しますので、参加者全員一致ご承認賜りますようお願い申し上げます。ご開会の挨拶と致します。

TPP交渉参加阻止を 実現するまで不退転の決意で戦う！

4月27日札幌市において、TPP問題を考える道民会議主催により、TPP参加による多くの懸念が払拭されず、道民合意が得られていない現段階での拙速なTPP参加交渉に反対する「こと」を目的とした道民集会が開かれました。当JA地区からは、柿林組合長をはじめ役員、JA青年部長・JA女性部長・旭川農業委員長・東鷹栖農民連盟執行委員長・大雪土地改良区副理事長などが参加し、総勢1500名の集会となりました。



また、当日同会場においてJA中央会など道内1次産業4団体が主催する、TPP交渉参加断固阻止北海道総決起大会」も併せて開かれ、政府は、TPPが与える様々な影響について十分な情報開示を行い、地方の農林水産業者・商工業者・医療関係者・消費者・労働者などの意見をしっかりと聞いた上で、国民的議論を行うべきであり、私たちは拙速なTPP交渉参加表明に反対します」と宣言し閉幕しました。



たいせつ農産物直売所 野菜出荷本格化！ ソフトクリーム販売開始



越冬野菜や干し野菜が主だった店頭に、たくさん野菜が棚に並び始めました。

アスパラやホーレン草・小松菜・チンゲン菜などの葉物野菜が多く並び始め、ゴールデンウイーク前からギョウジャにんにくにタラシやうどなどの山菜が、5月中旬に入ると早くもきゅうりが目見えしました。

4月27日からは、直売所一押しのカウ&カーフのソフトクリーム販売も始まり、たくさんソフトクリームファンが訪れています。今年3年間続いた旭川市の事

業が終了し、新生「たいせつ農産物直売所」がスタートしました。たいせつ農産物販売協議会では、現在57名の会員が野菜やそれを原料に使用した味噌やケーキ、お菓子の加工品を販売しています。

是非、自分が丹精込めて育てた野菜を売ってみたいと思う方は会員になってみませんか。訪れるお客さんは、新鮮で安心、安全な野菜を手に入れる事はもちろん、直売所に生産者の匂いを求めているのです。

第41回上川ホルスタインシヨウ開催

4月28日、ホクレン北海道中央地域家畜市場(旭川市東鷹栖)において、第41回上川ホルスタインシヨウが開かれました。

管内の一部地区が出品を全面自粛した為管内全体で37頭という小頭数ではありましたが、和やかな雰囲気の中、各牧場の乳牛改良の成果を競いました。

当地域からは東鷹栖地区藤沢孝宏さんと同加藤孝志さんから計11頭が出品され、そのなかで加藤孝志さん所有のグリーンハイツ トレーシー マウイ号が出品牛全体の最高位であるグラウンド・チャンピオンを獲得されるなど輝かしい成績を残されました。

審査終了後には出品者並びに関係者による昼食会と関係各社からの協賛品の抽選会が行われ、和やかに親睦を深めました。



加藤孝志さん



藤沢孝宏さん

酪農後継者研修会開催

5月10日、酪農振興会による酪農後継者視察研修会が開かれ、長沼町にある(株)雪印種苗北海道研究農場を視察しました。

本農場では酪農・畜産の試験研究を実施し新資材の成果確認等が行われており、現在の試験内容や経過、施設等を視察しました。

現状の厳しい情勢にある酪農・畜産情勢下、新たな技術や飼養管理方法について丁寧な説明・対応を頂き大変有益な視察研修となりました。



旭川市からのお願い 農業用機械の道路走行に伴う道路汚染について

毎年、農作業の繁忙期となる春や秋に農作業で道路(市道等)を走行して移動する農業用機械によって、道路が汚されているとのご指導が市民から市に寄せられており、農作業に従事されている農家に指導してほしい旨の要望がありました。

この行為は、道路法第43条第1項の「みだりに道路を損傷

し、又は汚染すること」にあたります。

具体的には、田んぼや畑で作業をし、道路を走行して移動する際にトラクター等のタイヤに付着した土が原因であることから、農作業に従事される方におかれましては、現状を理解していただき、道路を汚した場合に、路面清掃等の対応をお願い致します。





水
稲

予想される向こう3か月の天候は、気温・降水量ともに平年並みと予報されておりですが、昨年の反省点を踏まえながら適切な水管理を徹底しましょう！

早期茎数確保の水管理

分けつ限界水温は15℃、分けつ発生の適水温は16℃～30℃と広範囲ですが、23℃程度で分けつの発生が最も多くなります。水深測定板で1日1回きめ細かな水管理を実施しましょう。

(写真1)

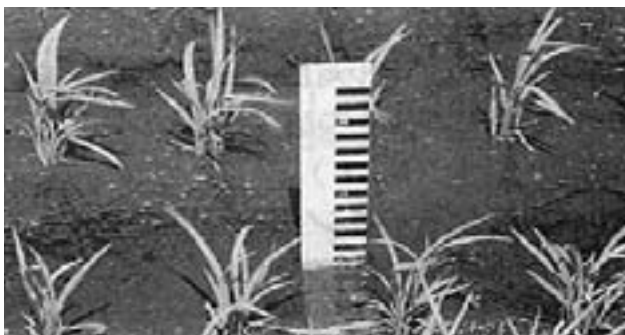


写真1 水深測定板を活用した適正な水管理

(1) 日中は止め水で水温上昇
水田は、水温を上げないと地温も上がりません。日中は止め水とし、水温上昇を図り、入水は早朝もしくは夜間に実施し、恒常的な掛け流しはしないようにしましょう。

(2) 分けつを促進する水深
晴天が続く時は、平均水深2～3cmの浅水管理を行い、水温を高めましょう。

天気予報により低温が予想される場合(最高気温15℃以下)は、事前に深水に移行しましょう。(草丈の3/4程度)(図1)

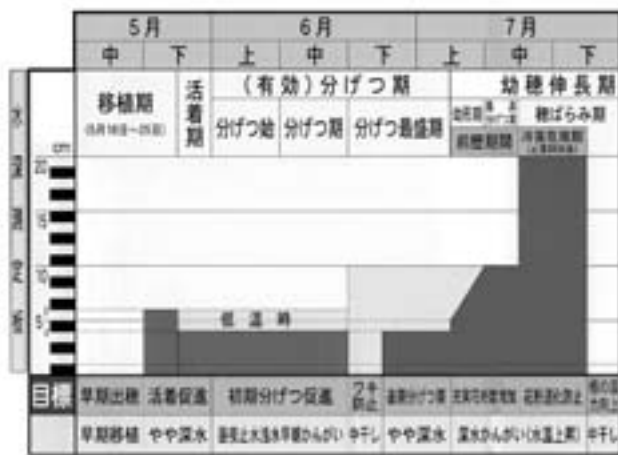


図1 水管理の目安

土壤還元(ワキ)の防止対策
稲わらすき込み田では、水温・地温が20℃を超えてくると還元が現れるので、田面水の入れ替えを行います。土壤還元は激しい水田では、晴天日を選んで中干しと併せて溝きりを行い、田面に大きな亀裂を生じさせないように注意しましょう。
尚、土壤還元対策は幼穂形成期までに終わらせましょう

「いもち病」対策
昨年、いもち病が発生した圃場や「ほしのゆめ」作付け圃場

など、いもち病の発生が心配される圃場では、水面施用剤で早めの防除を実施して下さい。
・(表1)

薬剤名	使用量 (10aあたり)	使用時期	注意事項
オリゼメート 1キログラム粒剤	1kg	6月下旬～ 7月上旬	散布後4～5日間は湛水に保ち落水・かけ流しはしない。 ・施用の目安は幼穂形成期とする。
コラトップジ ャンボ	50g×10袋		

表1

来年の苗床準備をしましょう。
春先のpH矯正では限界がありますので、この時期に土壤診断を行い、pHを適正値に矯正しておきましょう。また、えん麦等の作付けを行い来年に向けての土づくりに努めましょう。

特に、本年磷酸過剰障害がみられたハウスは必ず秋に土壤診断(精密分析)を受けて下さい。

畑作

5月は、気温が平年並みと暖かい日が続き、作物も順調に生育している状況ですが適切な肥培管理で高品質・高収量を確保しましょう！

秋播き小麦

(1) 止葉期の分追肥

生育のムラが多くみられますが、粒重とタンパク含有率を高めるため、生育・葉色を見て分追肥を判断しましょう。

特に止葉期追肥の効果が最も高く、硫酸を10aあたり15kg程度散布してください。

春播き小麦

(1) 初冬播き栽培では、子実タンパク含有率が低くなる傾向にあります。

穂揃期に硫酸を10aあたり15kg程度散布し、高タンパク小麦を生産しましょう。

(2) 慣行栽培では、遅れ穂対策として防除時の葉面散布による分追肥が有効で、粒重とタンパク含有率が高まります。

春播き小麦(初冬播き含む)の尿素による追肥濃度は2%水100に対して尿素2kg、散布量は10aあたり100とし、重複散布にならないよう均一散布とする。また、高温時の散布は「葉焼け症状」が発生しますので、夕方の涼しい時間帯に散布してください。

病害虫防除

(1) 赤かび病

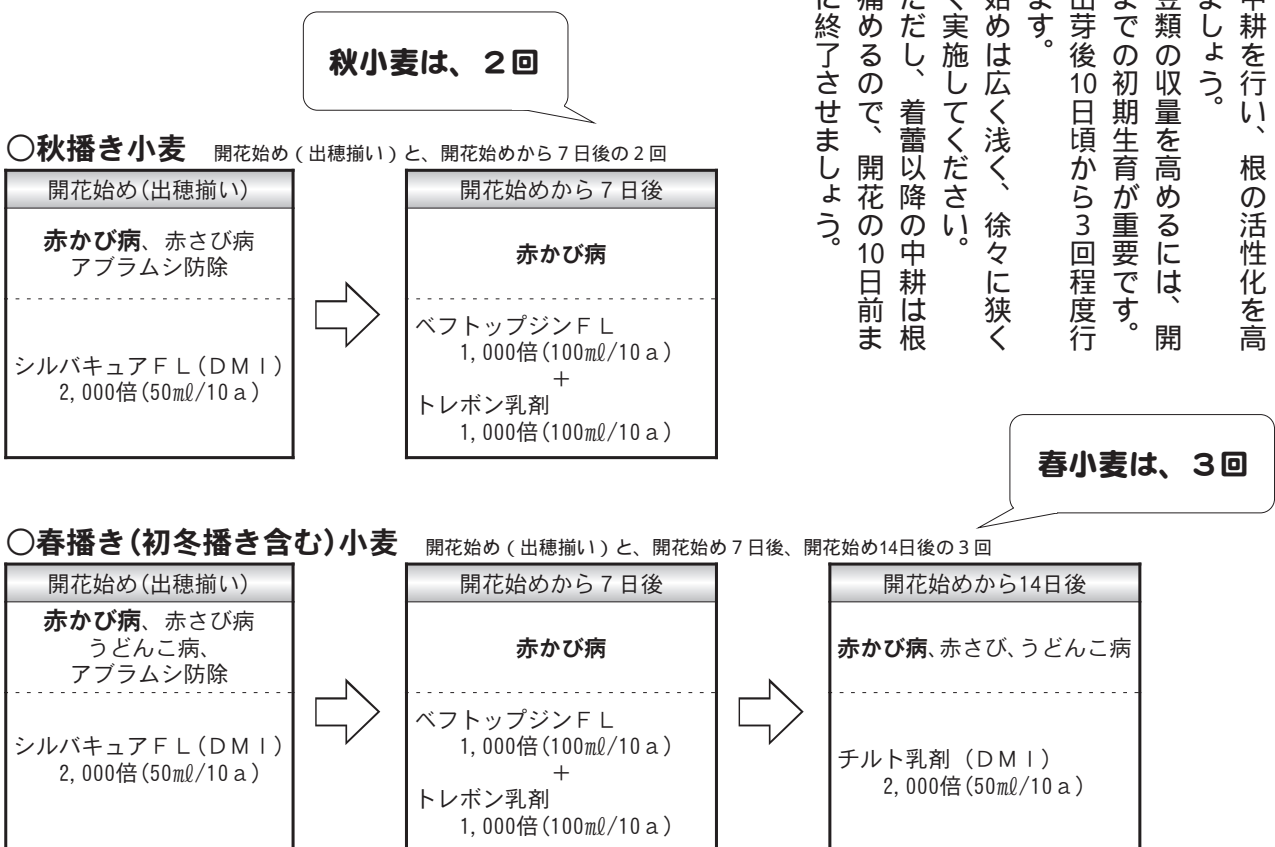
検査時に赤かび病の子実が一粒でもあれば規格外となります。また、かび毒の検査(DON検査)で基準1.1ppm以上あれば規格外となります。

開花期が最も感染しやすい時期なので、ほとんどの穂が出たときを1回目の薬剤散布とし、秋播き小麦は2回、春播き小麦は3回を確実に実施しましょう。(図2)

(2) アブラムシ

1穂あたり7〜11頭寄生すると減収し、品質が低下します。出穂期から10日〜20日後に寄生密度が高まるので、赤かび病防除と併せて徹底防除しましょう。

図 - 2 病害虫防除体系 ()内は10a当り薬量



ひろげよう！農家民泊

「JAたいせつ地域グリーンハート協議会」

5年で1343名を受入

半日体験 農泊体験

これまで、学校教育の現場では、農業や農村地域が遠い存在となっており、子供たちにとって、食べ物をだれがどこで作っているのか、そこにどんな現実があるのかを知る機会が減少しているのが現状です。

しかし、近年、そのような状況を改善するため、教育現場では農業の持つ素晴らしい価値を伝えるために農村地域での農業体験学習が広がっており、修学旅行や宿泊学習で農業体験を行う学校が増えています。

そこで、JAたいせつ地域では、平成19年4月、行政、土地改良区、農協外郭団体で構成する「JAたいせつ地域グリーンハート協議会」を設立しました。これまで、受入農家のご協力を頂きながら、中・高校生を中心に17校1343名の生徒を受入し、体験に訪れた子供たちは、土に触れ、自然を感じ、普段食べているお米や野菜の育む環境を肌で感じながら農業体験を行っています。

数年前までは、半日の農業体験が主でありましたが、最近では、「農泊体験」を希望される学校が多くなっています。教育現場では、子供たちが農家の家で寝食を共にすることで、農村社会や文化

を学ぶことができ、また、知らない家庭でお世話になることで自立心や規範意識を育むことができるという観点から、半日や1日の日帰り農業体験より農家の家に宿泊する「農泊体験」の申込みが増えている状況です。

しかし、農泊体験を受入するには、「旅館業営業許可取得者」でないと受入できません。現在、たいせつ地域では7戸が

「旅館業営業許可」を取得していますが、地域として「農泊体験」の受入体制を構築していくため、「旅館業営業許可」の取得を推進しています。

旅館業営業許可を取得して民泊を始めたい方は、手続き内容などわかりやすく、誰でも始められるようサポートしてまいりますので、農業振興課までご連絡ください。

「旅館業営業許可」手続きの流れと方法

- 要件 該当しているか確認
 - ・ 自宅の一部に宿泊してもらい、大規模な改装や増改築を行わない
 - ・ 民泊として営業する部分が100㎡を超えない
 - ・ 一建物につき客室面積（押入などを含む）が33㎡未満
 - ・ 客室部分が住宅部分より小さい
- 必要書類 準備する書類の有無確認

農業者であることの証明書類

 - ・ 農地を持っている方
耕作証明書（農業委員会で発行）
 - ・ 農地を持っていない方
確定申告書、営農収支実績書

自宅（許可を取る建物）の平面図、工作物配置図、立面図、周辺見取図

 - ・ 図面関係を持っていない場合、個別に相談に応じます

公図又は地籍測量図、土地・建物の登記事項証明書

 - ・ 旭川地方法務局で発行

建築基準法第7条の規定による検査済証

 - ・ 無い場合は、建築台帳記載証明書を添付

水道水以外を利用している場合、水質検査結果を証する書類の写し

 - ・ 旭川市の場合、保健所衛生検査課試験検査係（民間でも可）
 - ・ 鷹栖町の場合、上川保健所（民間でも可）
 - ・ は都市計画区域外及び市街化調整区域外の方は不要
- 申請手数料

旅館業許可申請手数料	旭川市	19,100円
	鷹栖町	21,700円
開発許可申請手数料(都市計画区域及び市街化調整区域の方)	旭川市	6,900円
	鷹栖町	面積により算定
- 保健所による現地調査
- 旅館行許可証交付

JAマイカーローン

キャンペーン期間 24/6/1~9/29

JAマイカーローンの商品概要	
ご利用 いただける方	<ul style="list-style-type: none"> ● 借入時18歳以上最終返済時71歳未満の方 ● 前年度年収150万円以上(准組合員は200万円以上) ● 当JAが指定する保証機関の保証を受けられる方
お使いみち	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車購入資金(新車・中古車・自動二輪) ● 自動車購入時の諸費用(税金・自動車共済(保険)掛金・登録諸費用等)、車検・整備の費用、免許の取得費用、車庫建設費用(100万円以内)
ご融資金額	● 500万円以内(所要金額の範囲内)
ご融資期間	● 6か月以上7年以内
ご返済方法	● 元利均等返済(ボーナス併用返済可)
担保・保証	● 当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただきますので、原則として担保・保証人は不要です
<p>※ ローン商品の詳しい内容については、店頭にてご説明しております。</p> <p>※ 店頭にて返済額の試算を承っております。</p> <p>※ 審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。</p> <p>※ ご返済の滞りなどが発生した場合には、キャンペーン金利の適用を中止し、店頭標準金利に引上げさせていただきます。</p> <p>※ マイカーローンをご利用中に、繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途当JA所定の手数料が必要となります。</p>	

ご相談いただいた方には
「ちよぎんぎょボールペン」をプレゼント!

【当初変動金利】

年**1.70%**

●標準金利 年1.95%(平成24年6月1日現在)

※上記金利はお借入当初に適用される金利です。適用金利は年2回見直しされます。

【固定金利】

5年以内

年**2.20%**

7年以内

年**2.40%**

●標準金利 年3.00%~3.20%(平成24年6月1日現在)

※保証料が別途必要になります(保証料率 年0.70%~)

JAたいせつ エコ・リフォームローン

キャンペーン期間 24/6/1~12/30

エコ・リフォームローンの商品概要	
ご利用 いただける方	<ul style="list-style-type: none"> ● 借入時20歳以上最終返済時66歳未満の方 ● 年収200万円以上の方 ● 当JAが指定する保証機関の保証を受けられる方
お使いみち	<ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電の導入に伴う増改築 ● 節水・節電に繋がる増改築等
ご融資金額	● 10万円以上1,000万円以内
ご融資期間	● 1年以上15年以内 ※ ご融資金額等により異なる場合がございます。
ご返済方法	● 元利均等返済、元金均等返済
担保・保証	● 当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただきますので、原則として担保・保証人は不要です。ただし、お借入額が500万円超となる場合は、住宅及び土地に第1順位の抵当権設定が必要となります。
<p>※ 審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。</p> <p>※ ご返済の滞りなどが発生した場合には、キャンペーン金利の適用を中止し、店頭標準金利に引上げさせていただきます。</p> <p>※ ローンをご利用中に、繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途当JA所定の手数料が必要となります。</p>	

【当初変動金利】

年**1.70%**

●標準金利 年2.05%(平成24年6月1日現在)

※上記金利はお借入当初に適用される金利です。適用金利は年2回見直しされます。

【固定金利】

年**1.95%~2.15%**

●標準金利 年2.60%~(平成24年6月1日現在)

※保証料が別途必要になります(保証料率 年0.40%~)

【お申込みに必要なもの】

・見積書または契約書・運転免許証・健康保険証・所得証明書または源泉徴収票

※その他にも書類が必要となる場合がございます。



JAたいせつ

本所 融資課 旭川市東鷹栖1条3丁目

☎57-2311

支所 管理金融課 鷹栖町北1条2丁目

☎87-2121



2012 中古農機自動車 展示即売会

お買い得品や楽しいイベントが盛りだくさん!

待ってちゃ見つからない?
 だったら、掘り出し物を探しに行こう!



上川地区

6月 23日(土) ▶ 24日(日)

9:00~16:00 / 9:00~14:00



部品・副資材
 展示即売会
 同時開催



内容盛りだくさんでお待ちしております!

◎御成約の際、御本人の顔写真出来るもの(免許証・保険証等)が必要となりますので、ご持参ください。
 ※農機展示は予告なく変更になる場合があります。お近くの農機またはインターネットのホームページでお知らせの上、ご来場ください。

JA ホクレン

理事会からの報告

平成二十四年四月十六日第十六回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、JA全国監査機構監査報告等について

監査報告等について報告があり承認されました。

二、農協事業懇談会意見集約について

平成二十四年三月二十七日から三月三十一日まで実施致しました農協事業懇談会のご意見を集約し、その対応策について協議し今後の事業運営に反映する事と致しました。

三、第九回通常総代会対策について

第九回通常総代会の運営等についての対応を協議致しました。

四、T P P 交渉参加断固阻止に関する特別決議について

第九回通常総代会において、T P P 交渉参加断固阻止に関する特別決議（案）を提案することが決定されました。

五、平成二十三年度農業体質強化基盤整備促進事業について

平成二十三年度農業体質強化基盤整備促進事業についての取り進めについて承認決定されました。

六、平成二十四年度内部監査計画について

平成二十四年度に於ける内部監査については、監査基本方針に基づく監査計画書が示され原案通り承認決定されました。

平成二十四年四月二十五日第一回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、平成二十四年度理事報酬額について

総代会で承認戴いた平成二十四年度理事報酬額について、組合長・専務・筆頭理事・理事の報酬について協議し決定致しました。

二、役員退職慰労金の支給について

役員退職慰労金の支給について、支給方法、支給時期については常勤に一任することが承認決定されました。

三、定款第三十八条による参事の選任について

参事に三浦義昭（学経理事）を選任致しました。

監事会からの報告

平成二十四年四月二十五日第一回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、平成二十四年度監事報酬額について

総代会で承認戴いた平成二十四年度監事報酬額について、代表監事・監事・常勤監事の報酬額について協議し決定されました。

退職のご挨拶

営農部営農推進課

原 隆幸



深緑の候、組合員の皆様には、益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

私こと、五月三十一日をもちまして、長年お世話になりました「たいせつ」農業協同組合」を退職いたしました。

顧みますと昭和五十年六月、旧東鷹栖農業協同組合に奉職以来三十七年の長きに亘り勤めさせていただきましたことは、偏に組合員

「たいせつ」のあゆみ

5月

- 5月3日 春の園芸市（4日）
- 5月7日 企画会議
- 5月8日 上川中央部内部審査
- 総務部（10日）
- 5月31日 第2回理事会

皆様をはじめ役員皆様の温かいご指導とご協力の賜物と深く感謝し、心から厚くお礼申し上げます。

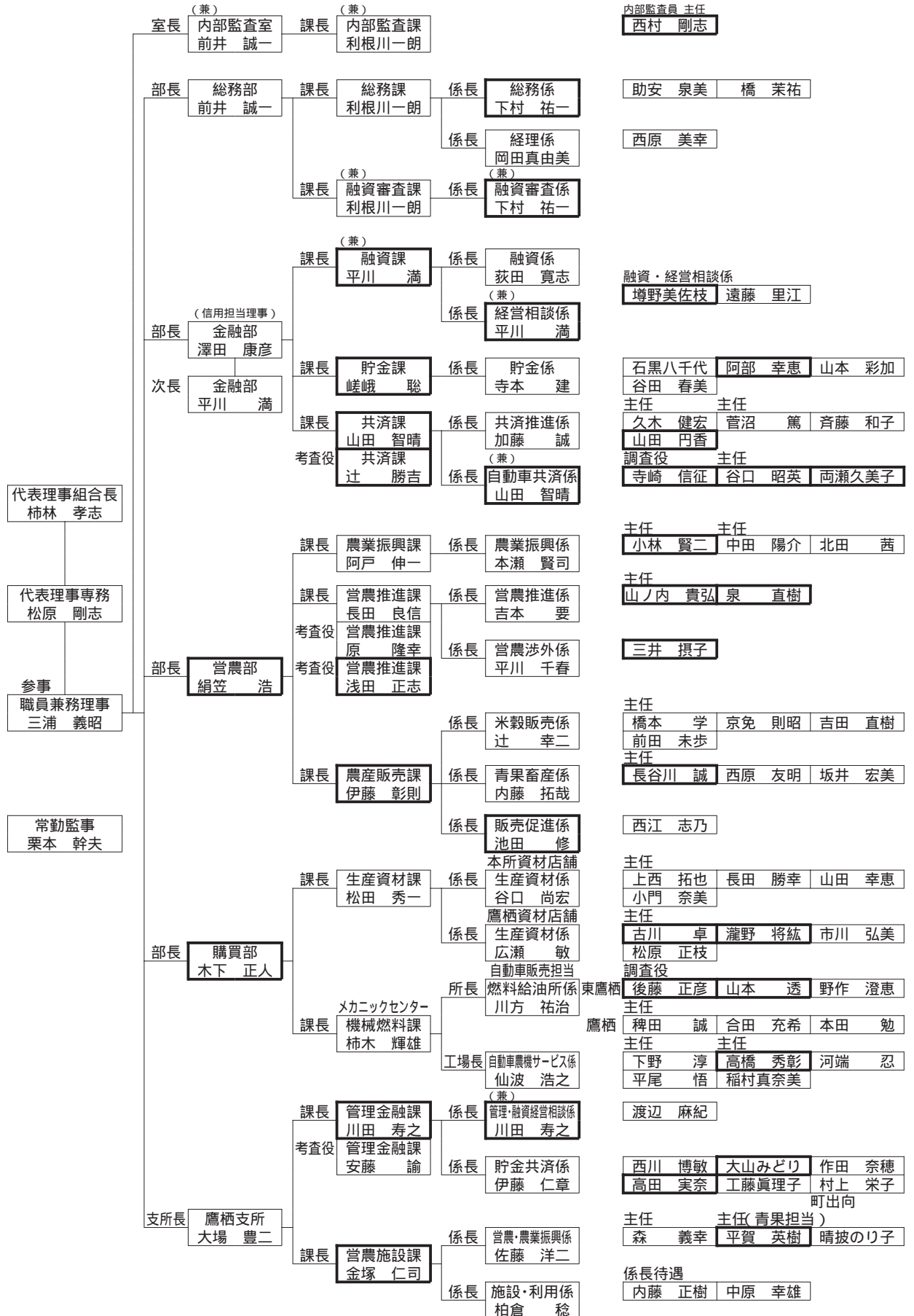
これからは、皆様から戴きました多くのご教訓を大切にしながら、新しい人生を歩んで参りたいと存じますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

末筆になりますが組合員皆様のご健勝とご多幸と、たいせつ農業協同組合の益々のご隆盛をご祈念申し上げます。退職のご挨拶とさせていただきます。

長い間大変お世話になり誠に有難う御座いました。

たいせつ農業協同組合 機構図

平成24年 5月23日



5月23日付で人事異動がありました。上記機構図の太線枠が、今回の異動対象者（昇格含む）です。機構の一部を改正 ~ 金融部共済課と購買部自動車共済課を統合、金融部共済課と致しました。

JAたいせつ広報誌 ひろばたいせつ
2012/6月号 第112号

発行 たいせつ農業協同組合
〒071-8101 旭川市東鷹栖1条3丁目635-53
TEL0166-57-2357

印刷 株式会社